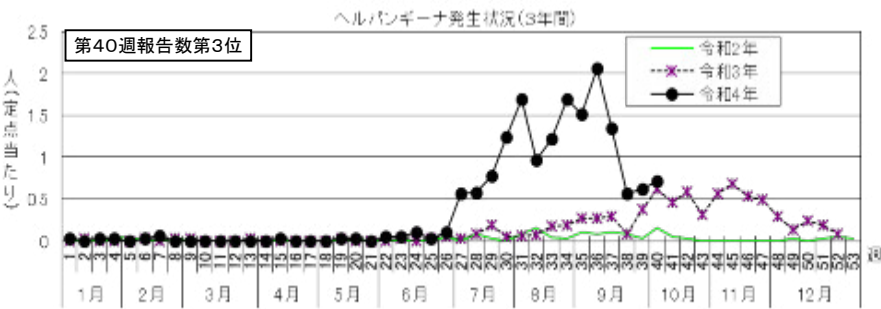
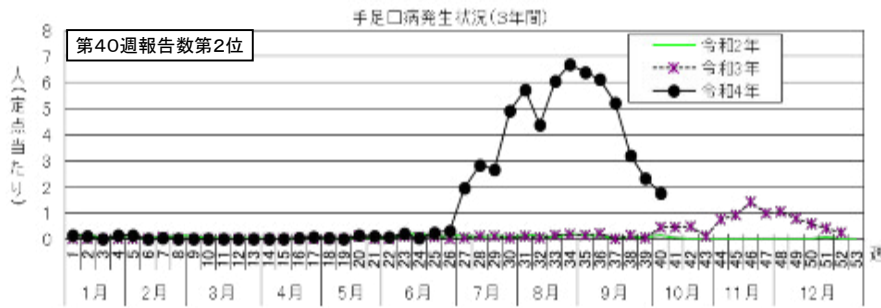
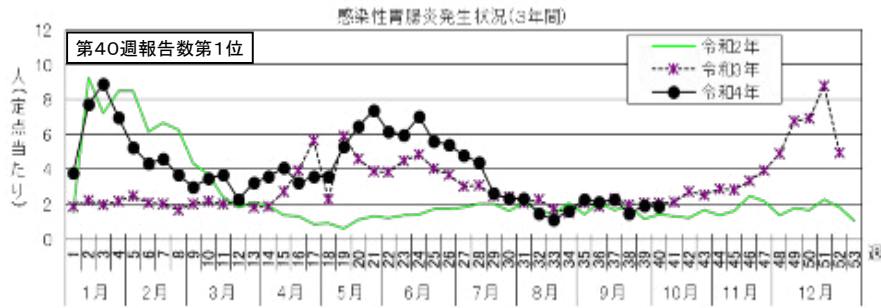


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年10月3日（月）～令和4年10月9日（日）〔令和4年第40週〕の感染症発生状況

第40週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) ヘルパンギーナでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.92人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は1.75人と前週（2.32人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.72人と前週（0.62人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 知っていますか？～エンテロウイルスD68による感染症～

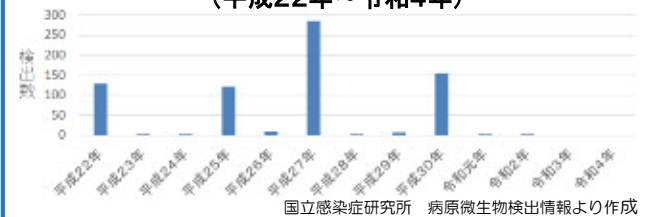
エンテロウイルスは、風邪や胃腸炎等の原因となるウイルスで、ウイルスの型によって様々な症状を引き起こします。中でも、エンテロウイルスD68は、感染すると発熱や咳等の症状が現れ、多くは軽症ですが、時に喘息様発作を起こすことが知られています。また、同じエンテロウイルス属のポリオと同様に弛緩性麻痺を起こすこともあります。

我が国では、平成22年及び27年に全国で患者数が増加し、同時期に喘息発作による入院数の増加や、急性弛緩性麻痺の患者の発生が多くみられました。エンテロウイルスD68は、2～3年周期で流行がみられ、今年には既に7月から米国で感染者数が増加しています。感染すると、アレルギーの有無にかかわらず、喘息様発作を起こすことがあるため、症状の変化に注意が必要です。

### エンテロウイルスD68感染症とは？

- 【感染経路】  
 飛沫感染、接触感染
- 【症状】
- ・発熱、鼻汁、咳、喘息様発作、肺炎、弛緩性麻痺など
  - ・特に喘息の既往がある小児は重症化の可能性あり
  - ・麻痺の前に発熱を認める場合、発熱後6日程度で麻痺が出現
- 【予防対策】  
 手洗い、咳エチケットなど

全国のエンテロウイルスD68年別検出報告数  
 (平成22年～令和4年)



エンテロウイルスD68による急性弛緩性麻痺は、ポリオウイルスと同様に、ウイルスが脊髄の一部に入り込み、手足などに麻痺が現れます。約80%の患者に様々な筋力低下が残るとされています。

